白鳳丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

＊ 航海番号　　ＫＨ－１０－４ 次研究航海

＊ 観測海域　　中西部太平洋

＊ 航海期間　　平成２２年９月１日（水）～平成２２年１０月１５日（金）

＊ 出港日時・場所　　９月　１日　１４時　東京(晴海)港

＊ 入港日時・場所　　１０月１５日　１０時　横浜港

＊ 寄港期間・場所　　９月１４日―９月１８日　ホノルル港

＊ 航海の研究題目

（和文）　太平洋におけるウミアメンボの生態、海洋有殻プランクトンの多様性、海洋変動および海台の成因に関する研究

（英文）　Studies on behavior of halobates, biodiversity and biomass of marine tested plankton, ocean variation, and origin of oceanic plateau in the Pacific Ocean

＊ 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@）

中村　恭之・東京大学大気海洋研究所・助教・saru◎aori.u-tokyo.ac.jp (Leg2)

原田　哲夫・高知大学教育学部・教授・haratets◎kochi-u.ac.jp (Leg1・主席代理)

＊ 研究内容, 主調査者（e-mail アドレス）, 観測項目

１．マニヒキ海台の形成過程の解明、中村恭之(saru◎aori.u-tokyo.ac.jp)、海底地形調査(SeaBeam)、重力観測、地磁気観測(プロトン磁力計)、地層探査（サブボトムプロファイラ)、マルチチャンネル反射法地震探査（エアガン、ストリーマケーブル)、XCTD

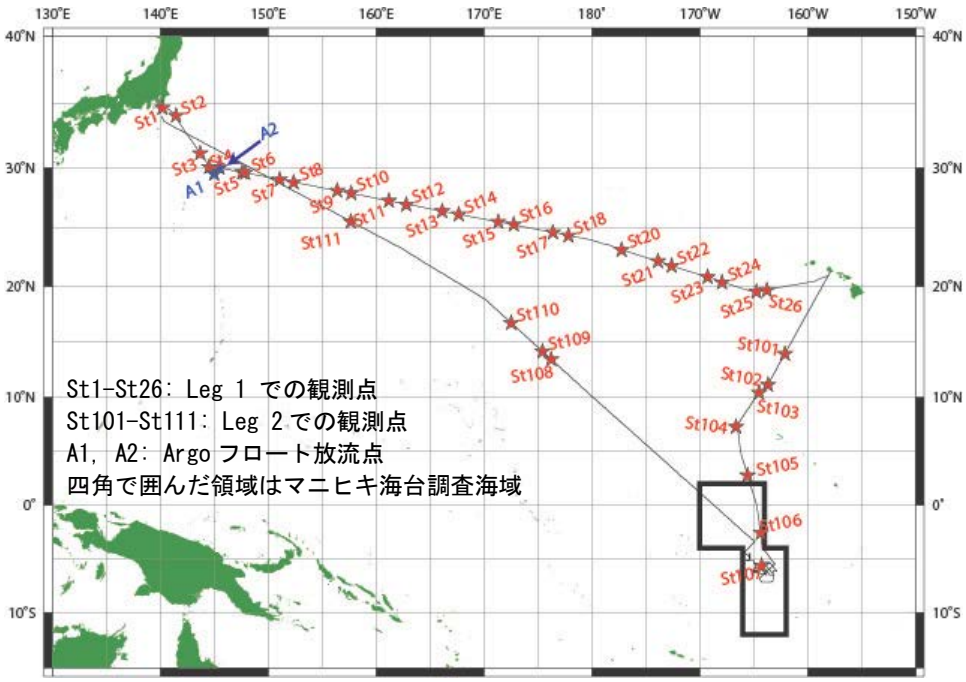
２．３大洋すべてに生息する唯一のウミアメンボ、*Halobates micans*の３大洋間分布比較および環境応答性における地理的変異についての生理・生態学的研究、原田哲夫（haratets◎kochi-u.ac.jp)、ニューストンネット、CTD

３．海洋有殻プランクトン（有孔虫・放散虫・円石藻）の深度方向への種の多様性とバイオマス、氏家由利香(jm-yurika◎kochi-u.ac.jp)、VMPS ネット、CTD 採水、MTD ネット、NORPAC ネット

４．Argo フロートによる太平洋の海洋変動研究、平野瑞恵(hiranom◎jamstec.go.jp)、Argo フロート

＊ 乗船研究者氏名・所属・職名

Leg1　原田哲夫・高知大学教育学部・教授
小熊健治・東京大学大気海洋研究所・技術職員
関本岳朗・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院学生
井餘田航希・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院学生
白木隆士・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院学生
大角裕貴・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院学生
横川真一朗・㈱マリンワークジャパン・観測技術員

Leg2　中村恭之・東京大学大気海洋研究所・助教
石垣秀雄・東京大学大気海洋研究所・技術職員
亀尾桂・東京大学大気海洋研究所・技術職員
三沢文慶・東京大学大気海洋研究所・大学院学生
多良賢二・東京大学大気海洋研究所・大学院学生
氏家由利香・高知大学海洋コア総合研究センター・研究員
関本岳朗・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院学生
井餘田航希・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院学生
石谷佳之・海洋研究開発機構・PD 研究員
Luyan Li・Sun Yat-sen University・PD 研究員
Aurore Andre・University of Lyon I・大学院学生
Noelle Buchet・CNRS, Aix en Provence・技術者
横川真一朗・㈱マリンワークジャパン・観測技術員
久野光輝・日本海洋事業㈱・観測技術員

＊ 航跡・測点図